

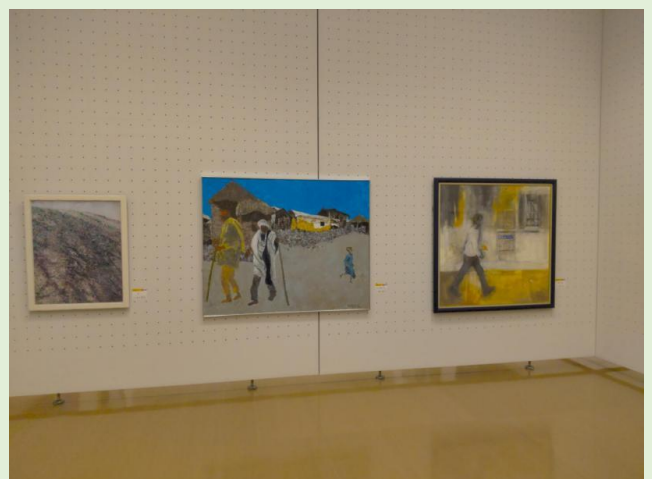
# 大阪市立美術館での額田画伯の展示

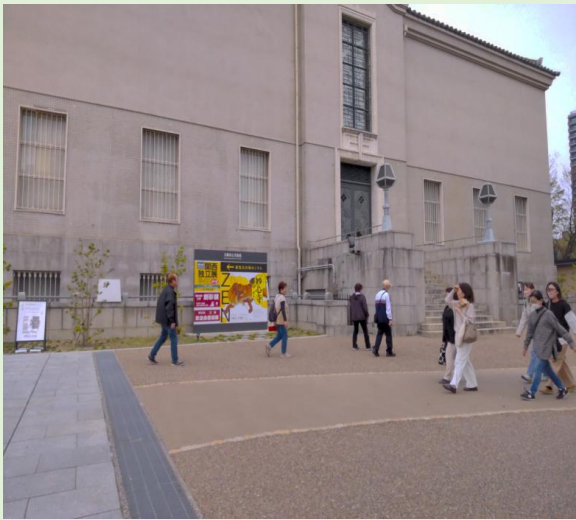
千葉宣嗣



3月29日、額田画伯より展示会のハガキを頂いて今日迄と慌ててバスにて天王寺美術館へ向いました。本来なら通り慣れた新世界、動物園前を通り正面玄関の階段を上るのですが、高齢者には意外と長い階段を敬遠し、アベノ経由の公園から杖を頼りに平坦道を選びました。此処は集団疎開から帰阪して解散した花壇の広場でしたが、本日は多くのテント村と子供家族の集まり場所になり大変な賑わい振りでした。犬を遊ばせる囲いまで作られて、人々の息抜き場所として盛況でした

大阪市美術館には先日、国宝展を見分した折りに改装された様で美しく成っており、以前にも額田画伯の展示会の時より地下展示場は広く綺麗に成って居りました。受付で頂いたパンフの見出し一番に額田氏の名前と、大作と在った故、広い展示場を大きな絵画の額田画伯名を探しますが見付きません。絵画に疎い私には仕方なく受付にまいり聞きました。傍の方が直ぐに案内頂きましたのが写真の様子であります。額田画伯に怒られるかも知れませんが今回も杖を突きつつ参りました事で吉として頂きます。





最近、3000歩位を限度にバスに乗り、地下鉄を利用して外出、リハビリを兼ねておりますが、今回は美術館地下を彷徨した為に天王寺駅の地下街に辿り着いた時は座る所を探すのに足が痺れしすぎて立って居れず呑み屋を探すのがやっとの有様でした。約4800歩歩いた様です。杖を無くして何とか歩ける様に頑張っておる次第です。それにしても額田画伯の元気に負けない様にリハビリに励みたいと思っております。チバ